

揚水井戸遠隔監視 Web 画面

操作説明書

平成26年9月21日



もくじ

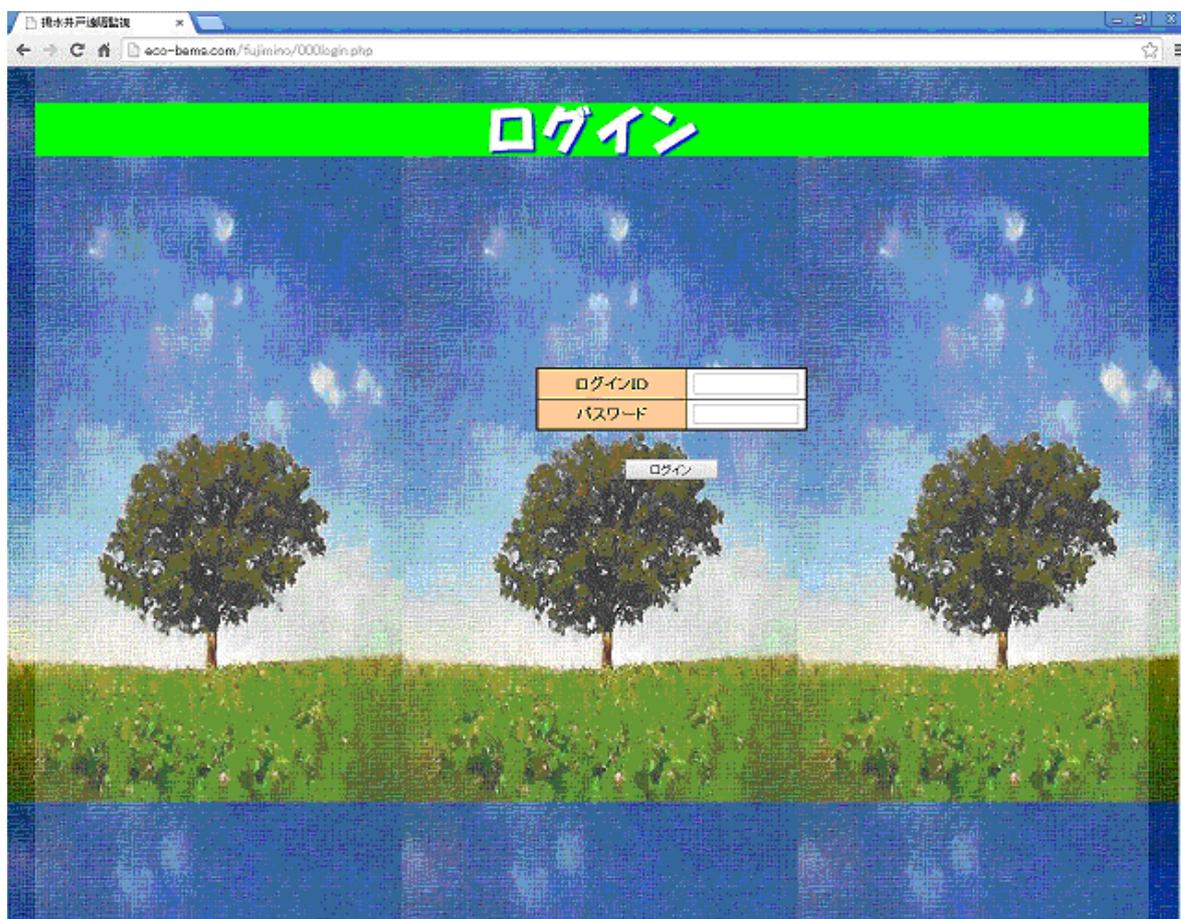
1. ログイン	3
2. 装置運転モニタ	4
3. メニュー	5
4. トレンドリスト	6
5. トレンドグラフ	7
6. アラーム履歴	10
7. 過去リスト	11
8. 過去グラフ	12
9. CSV 作成	13
10. 設定	15
11. モータ運転/停止/自動	16

1. ログイン

インターネットブラウザ（インターネットエクスプローラ等）で下記 URL にアクセスします。

<http://eco-bems.com/fujimino/>

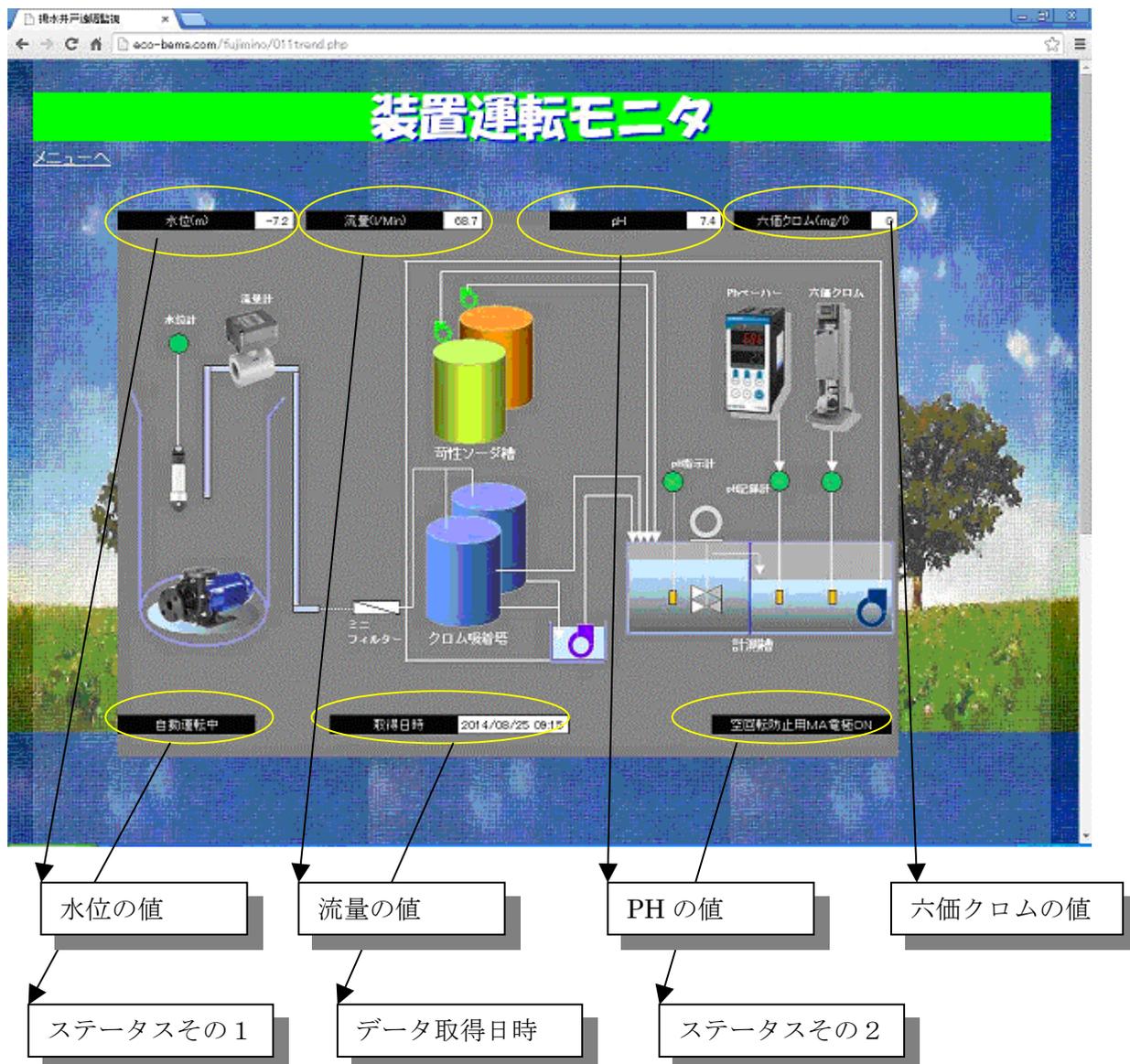
以下のような画面が表示されます。



ここで、
IDおよびパスワードを入れ、「ログイン」ボタンをクリックします。
画面は装置運転モニタへ遷移します。

2. 装置運転モニタ

ログイン画面にて ID およびパスワードを入れ、ログイン後、またはメニュー画面より装置運転モニタを選択することにより装置運転モニタ画面が表示されます。



装置運転モニタ画面において、5分ごとのデータを表示します。

データは毎時0分、5分、10分、15分、20分、25分、30分、35分、40分、45分、50分および55分に取得します。

画面上部に、水位、流量、pHおよび六価クロムのそれぞれの値を表示します。

水位、流量およびpHは小数点下1桁の表示で、六価クロムは小数点下2桁の表示を行います。

ステータス1として、自動運転中、遠隔運転、遠隔停止、自動および手動のどれかを表示します。

また、ステータス2として、「ポンプ回転」または「空回転防止用MA電極ON」を表示します。

3. メニュー

各画面にて画面の左上の「メニューへ」をクリックすると下記のようにメニュー画面が表示されます。



該当ボタンをクリックしてジョブを選択します。

「操作説明書」をクリックした場合、本説明書の pdf が Web 画面上に表示されます。
右クリックでメニューにおいて「対象をファイルに保存(A)」を選択するとファイル保存ダイアログが表示され、「保存」ボタンで指定 pdf ファイルへ保存を行います。(IE の操作の場合)

4. トレンドリスト

メニュー画面において、「トレンドリスト」を選択すると下記のような画面が表示されます。



日	時	水位(m)	流量(L/Min)	pH	六価クロム(mg/D)
2014/08/23	15:30	-10	68.7	7.4	0
2014/08/23	15:00	-10	68.7	7.4	0
2014/08/23	14:30	-10	68.7	7.4	0
2014/08/23	14:00	-10	68.6	7.4	0
2014/08/23	13:30	-10	68.6	7.4	0
2014/08/23	13:00	-10	68.7	7.4	0
2014/08/23	12:30	-10	68.6	7.4	0
2014/08/23	12:00	-10	68.7	7.4	0
2014/08/23	11:30	-10	68.8	7.4	0
2014/08/23	11:00	-10	70.6	7.4	0
2014/08/23	10:30	-10	70.6	7.4	0
2014/08/23	10:00	-10	70.6	7.4	0
2014/08/23	09:30	-10	70.6	7.4	0
2014/08/23	09:00	-10	70.6	7.4	0
2014/08/23	08:30	-10	70.5	7.4	0
2014/08/23	08:00	-10	70.6	7.4	0
2014/08/23	07:30	-10	70.8	7.4	0
2014/08/23	07:00	-10	72.1	7.4	0
2014/08/23	06:30	-10	77.8	7.4	0
2014/08/23	06:00	-10	78	7.4	0

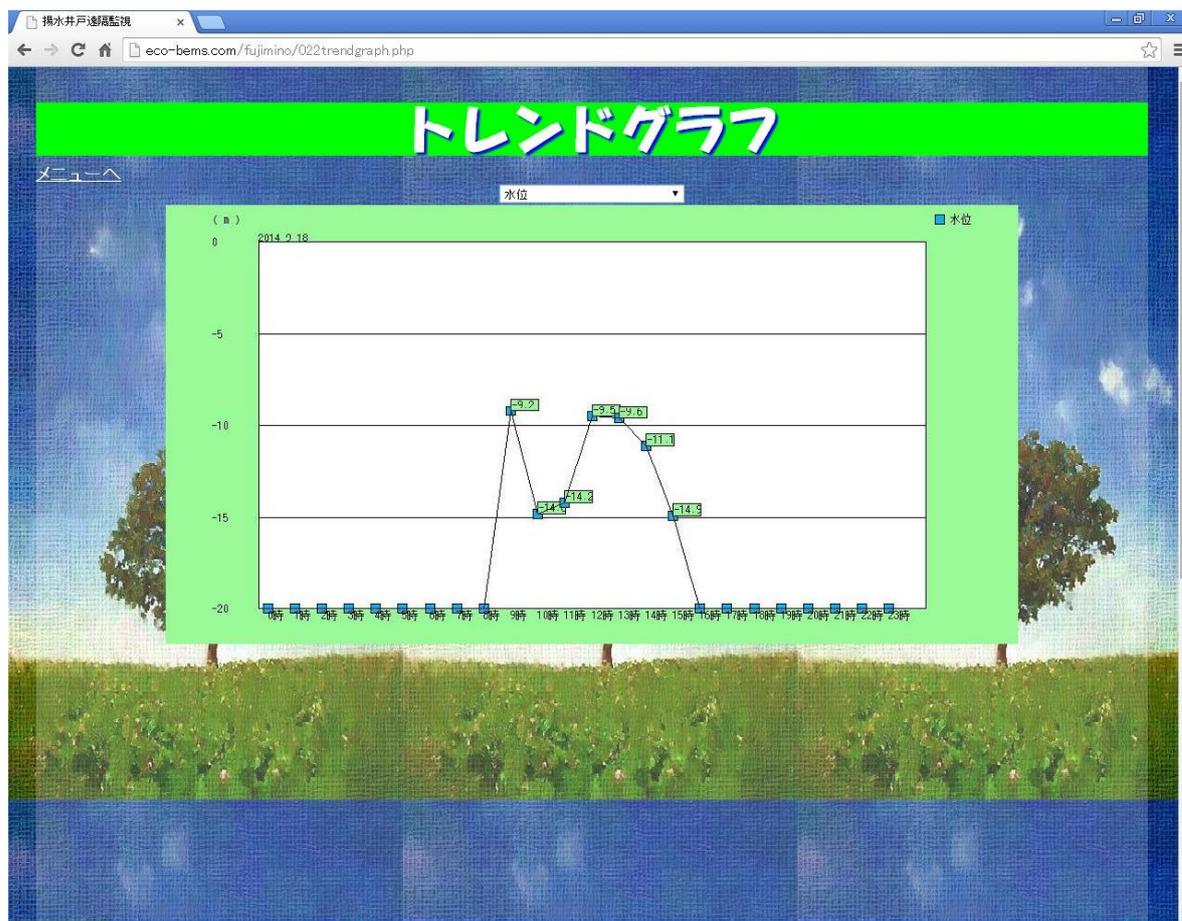
トレンドリストは、30分ごとの記録データ20個を最新順で表示します。

(従って、最上位の行には一番直近のデータを表します)

記録データは、毎時0分と30分のデータです。

5. トレンドグラフ

メニュー画面において「トレンドグラフ」を選択すると下記のような画面が表示されます。



トレンドグラフは当日の1時間ごとの各測定値をグラフ化したものです。グラフ表示する項目は、水位、流量、pHおよび六価クロムのなかから選択できます。初回は六価クロムが選択されます。グラフ表示エリアの上部にある選択ボックス（コンボボックス）を操作することにより表示項目を選択することができます。（上記のグラフは「水位」の過去グラフです）



「流量」のトレンドグラフの例



「pH」のトレンドグラフの例



「六価クロム」のトレンドグラフの例



6. アラーム履歴

メニュー画面において「アラーム履歴」を選択すると下記のような画面が表示されます。

発生日	発生時間	アラーム内容
2014/08/20	17:10	【発生】インバーター異常
2014/08/20	17:06	【発生】苛性ソーダタンク減 【発生】希硫酸タンク減
2014/08/20	16:06	【復旧】pHペーハー平均値アルカリ側オーバー 【発生】Cr六価クロム平均値オーバー
2014/08/20	14:55	【発生】pHペーハー平均値アルカリ側オーバー
2014/08/20	14:45	【復旧】pHペーハー平均値酸性側オーバー 【発生】Cr六価クロム平均値オーバー
2014/08/20	14:40	【発生】pHペーハー平均値酸性側オーバー

上記画面は初回、本日分のアラームが表示されます。

上部の表示指定エリアの操作により、「前日」「次日」を指定して表示することもできますし、年月日を指定して表示することもできます。

表示項目は、「発生日」「発生時間(時分)」およびアラーム内容です。

アラーム内容は下記の通りです。

- 苛性ソーダタンク減
- 希硫酸タンク減
- インバーター異常
- pH ペーハー平均値酸性側オーバー
- pH ペーハー平均値アルカリ側オーバー
- Cr 六価クロム平均値オーバー
- 水処理槽あふれ

該当アラームが発生した場合、「【発生】」が、復旧した場合、「【復旧】」がアラーム内容の先頭に付きます。

7. 過去リスト

メニュー画面において「過去リスト」を選択すると下記のような画面が表示されます。



2014年08月23日	水位	流量	pH	六価クロム
00:00	-10	78.1	7.4	0
00:30	---	---	---	---
01:00	-10	77.9	7.4	0
01:30	-10	77.8	7.4	0
02:00	-10	78	7.4	0
02:30	-10	77.9	7.4	0
03:00	-10	78	7.4	0
03:30	-10	77.9	7.4	0
04:00	-10	78.1	7.4	0
04:30	-10	77.8	7.4	0
05:00	-10	77.9	7.4	0
05:30	-10	78	7.4	0
06:00	-10	78	7.4	0
06:30	-10	77.8	7.4	0
07:00	-10	78.1	7.4	0
07:30	-10	70.8	7.4	0
08:00	-10	70.6	7.4	0
08:30	-10	70.5	7.4	0
09:00	-10	70.6	7.4	0
09:30	-10	70.6	7.4	0
10:00	-10	70.6	7.4	0
10:30	-10	70.6	7.4	0
11:00	-10	70.6	7.4	0
11:30	-10	68.8	7.4	0
12:00	-10	68.7	7.4	0
12:30	-10	68.6	7.4	0
13:00	-10	68.7	7.4	0
13:30	-10	68.6	7.4	0
14:00	-10	68.6	7.4	0

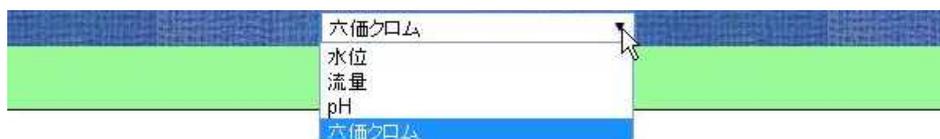
指定日の00時00分～23時30分の30分ごとの各測定値を昇順で表示します。
上記画面は初回本日の各測定値(水位、流量、pH、六価クロム)が表示されます。
上部の表示指定エリアの操作により、「前日」「次日」を指定して表示することもできますし、年月日を指定して表示することもできます。

8. 過去グラフ

メニュー画面において「過去グラフ」を選択すると下記のような画面が表示されます。



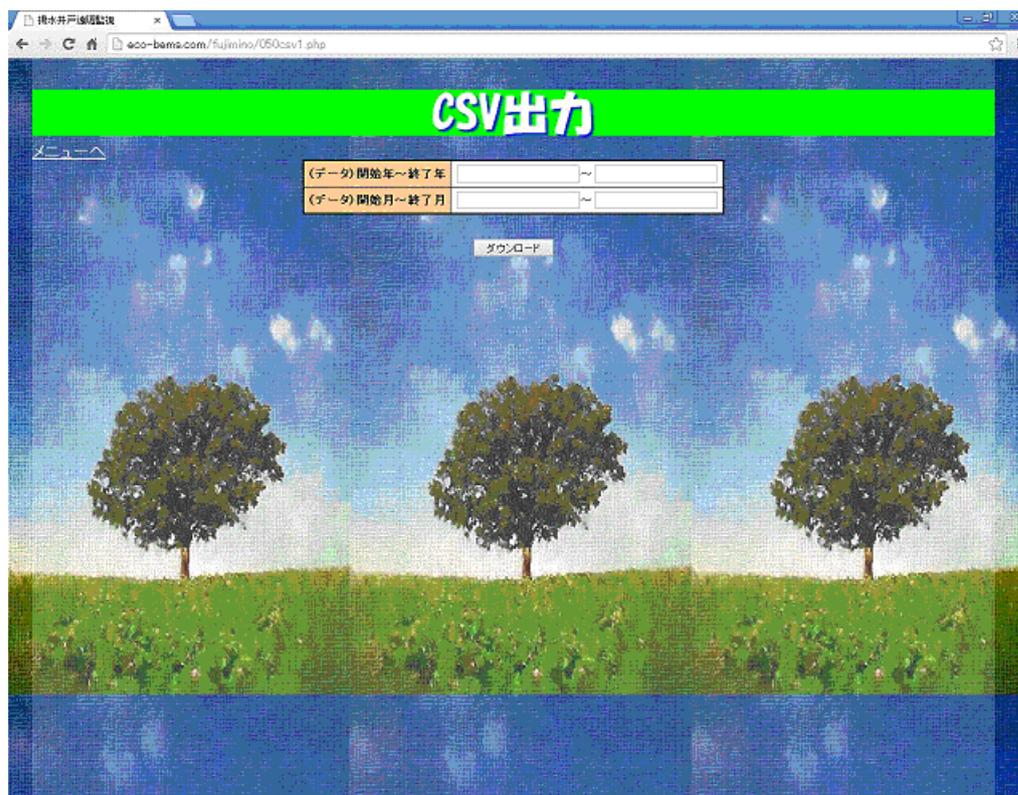
過去グラフは指定日の1時間ごとの各測定値をグラフ化したものです。グラフ表示する項目は、水位、流量、pHおよび六価クロムのなかから選択できます。初回は六価クロムが選択されます。グラフ表示エリアの上部にある選択ボックス（コンボボックス）を操作することにより表示項目を選択することができます。（上記のグラフは「水位」の過去グラフです）



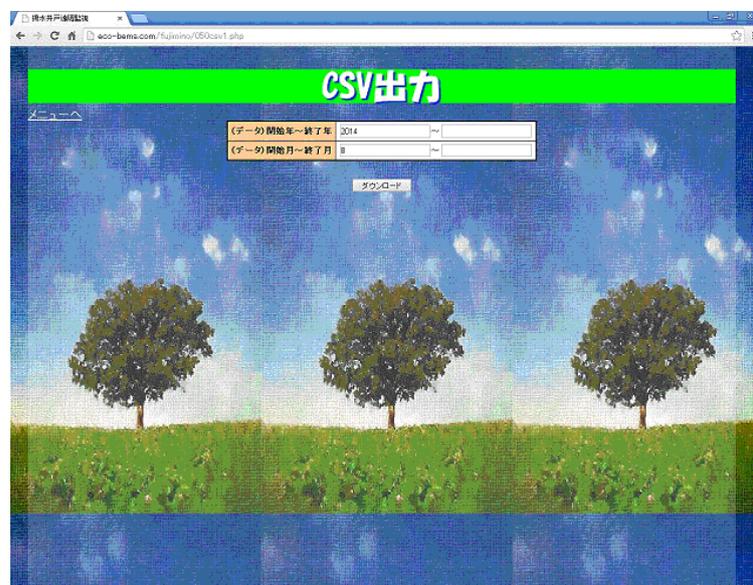
上部の表示指定エリアの操作により、「前日」「次日」を指定して表示することもできますし、年月日を指定して表示することもできます。

9. CSV 作成

メニュー画面において「CSV 作成」を選択すると下記のような画面が表示されます。



CSV データの出力は月単位で指定します。指定月を from~to で指定できます。



上記画面の例では、「2014」年「8」月の CSV 作成を指定する例です。

CSV ファイルフォーマット

<データ年月日>,<データ時分秒>,<水位データ>,<流量データ>,<pH データ>,<六価クロム>

CSV ファイルサンプル

(例えば、2014 年 8 月分のファイル、ファイル名=CSVDATA201408_201408.csv)

20140823,000000,-10,78.1,7.4,0

20140823,003000,-10,78.1,7.4,0

20140823,010000,-10,77.9,7.4,0

20140823,013000,-10,77.8,7.4,0

20140823,020000,-10,78,7.4,0

20140823,023000,-10,77.9,7.4,0

20140823,030000,-10,78,7.4,0

20140823,033000,-10,77.9,7.4,0

20140823,040000,-10,78.1,7.4,0

.....

.....

.....

.....

10. 設定

メニュー画面において「設定」を選択すると下記のような画面が表示されます。

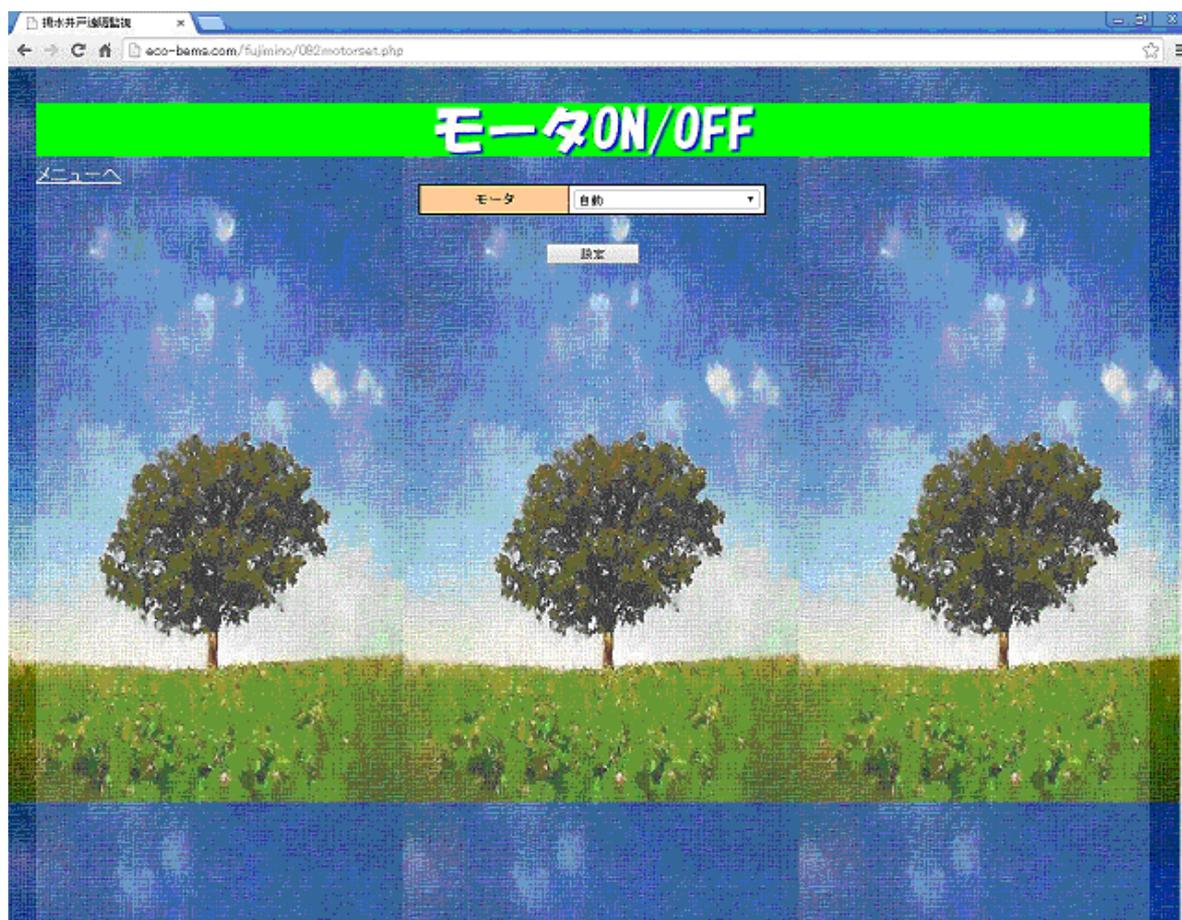


ここで、流量、水位上限および水位下限の各値を指定して設定することができます。
本画面が初回開いた時点で、流量、水位上限および水位下限の前回設定値が表示されます。

注) 設定値は毎時0分、5分、10分、15分、20分、25分、30分、35分、40分、45分、50分および55分の定期便に乗せるため、タイミングによっては設定値が反映されない場合があります。設定を行ってから画面に反映されるまで約10分ぐらいかかると見てください。

1 1. モータ運転／停止／自動

メニュー画面において「モータ運転／停止／自動」を選択すると下記のような画面が表示されます。



選択ボックス(コンボボックス)の操作により「運転」「停止」「自動」のどれかを選択し、「設定」ボタンをクリックします。

流量、水位上限および水位下限の設定同様、設定値は毎時0分、5分、10分、15分、20分、25分、30分、35分、40分、45分、50分および55分の定期便に乗せます。従って、設定を行ってから実際にモータの制御を行うまで約10分ぐらいの時間差が発生します。